

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 28日

事業所名 リハケアガーデンネクスト

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		最大6名の利用に対して十分なスペースを確保できている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		個別(40分1名)利用時は1~2名、小集団(60分2~6名)利用時は2名のスタッフで対応している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子ども達にわかりやすいように、基本の活動の場はフロアと分けて設定している。また、トイレや蛇口はユニバーサルデザインとなっており、わかりやすく設定している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動に応じてフロアの設定、環境の変更を実施している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		関係職員は日々の記録にて振り返り、次回の提案を行い情報共有している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート用紙や自己評価の記載事項を把握し、改善できるように取り組んでいる。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		未実施の為、今後実施を検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		職員間で話し合いや、ビデオ研修を行っており、定例会を通じ意見交換を行っている。今後は定期的な研修を行っていくこと検討している。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		母子通園利用の為、保護者へのアセスメントを毎回行い、モニタリング用紙なども考慮しながら児童発達支援計画に活かしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		必要に応じて、遠城寺式乳幼児分析的発達評価表やJSI-R、KIDS等の検査を用いて計画作成の参考にしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		必要な支援を決める際に、保護者記載のプロフィールや家庭内での環境などを考慮しながら支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		事前に計画書に目を通す時間を有している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		職員間でプログラムの内容を適宜計画、立案している。今後はチームで行える体制を検討していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員同士のプログラム内容を動画や写真を交えて共有し、活動プログラムの多様化を図っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状況に応じて、保護者へ個別・もしくは集団活動へ提案。変更があれば相談員へ報告し、計画書を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日担当者は前回の担当内容を確認し、必要時は職員間での共有も行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間での振り返りを行い、Slack(PCアプリ)へ記載。次回担当スタッフは内容を確認し、プログラムへ繋げている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容はSlackへ、当日記載することを徹底している。また、LINEworksへ検証したい情報を共有している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回は計画の見直しを行っている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		対象の子どもに多く関わっている職員が参画するよう心がけている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		発達支援センターや保育園等と必要に応じて連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケア児の支援なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療的ケア児の支援なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		定期的、または必要に応じて保育所や子ども園等と連携を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援シートを対象者分作成し、実施している。学校との情報共有も実施している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		話し合いの場を利用し、利用児童の相談を行い、助言を受けている。また、研修を通じて支援方法等の助言を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		共生型施設であることから、高齢者との関わりや活動する機会は設けているが、その他子ども達との交流機会は得られていない為、今後検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		相談や依頼があれば参加したいと考えている。また、保健センター等へ情報提供を依頼していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		母子通園の前後にて情報をお聞きしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者からの聞き取りや相談から、その子に応じた対応方法等をお伝えしている。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約書を説明する時間を設けている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者へ計画書の説明と評価を実施いただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		セッション前後での保護者からの相談や職員から保護者へ声かけを行い、必要な助言や支援方法をお伝えしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後、開催を検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		LINEworksで情報共有し、職員が共通理解できるようにしている。また、それに伴う対応も直ちに行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ユニマグ(ブログ)や事前に行事内容を定期的に行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時より個人情報保護について、説明と同意を得ており、同意内容に応じた対応を行っている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		事前に保護者へ必要な対応等についてプロフィール情報へ記載を頂き対応している。また、職員の応対について保護者よりお聞きするようになっている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		夏祭り等のイベントを通して、地域住民も参加できる企画を実施している。	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約書への明記、説明を行っている。事業所にて各対応を想定した訓練を実施している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の消防訓練(内1回は消防署立会有)実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者へプロフィール情報への記載を促し、スタッフが確認している。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		開始前の提出書類にアレルギー項目があり、記載を義務化している。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		LINEworksにて情報共有を行っている。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修会を開催している。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約書へ明記し契約時説明を行っている。	